

2021年3月1日

各位

**三菱UFJキャピタルがデジタル治療開発を促進するスキーム構築を主導  
-日本政策投資銀行、田辺三菱製薬、ひまわり製薬と共同出資-**

三菱UFJキャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：坂本 信介、以下「当社」）は、デジタル治療の開発会社であるDTアクシス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小島 尚之、以下「DTアクシス」）に対する総額12.3億円の資金調達のリード投資家を務めました。本資金調達では共同投資家として、株式会社日本政策投資銀行、田辺三菱製薬株式会社、ひまわり製薬株式会社が参加しております。

DTアクシスは、認知行動療法に基づくうつ病治療用アプリである「MTD-810」の医療機器製造販売承認取得を目指した臨床開発及び販売に関する権利を田辺三菱製薬株式会社より導入しており、2021年内に「MTD-810」の第2相臨床試験を開始する予定です。

当社は、本共同投資のように外部資金を活用して製薬会社の有望なシーズの開発を加速するオープンイノベーションに積極的に取り組んでいます。本資金調達は、製薬会社、CRO（開発業務受託機関）、金融機関が協力して、新たな治療手段の開発を促進する画期的なスキームとなります。ライフサイエンス分野において豊富な資金提供と経営支援の実績を有する当社の知見を活かし、引き続きアンメットメディカルニーズの高い疾患に対する画期的な新薬開発、新規モダリティ技術を用いた画期的な創薬活動に対する支援を行ってまいります。

#### **DTアクシス株式会社について**

DTアクシス株式会社は、アプリを活用した医療機器分野の研究開発・販売を促進することを目的に設立されました。社名である「DTアクシス」は、デジタルセラピューティクス（Digital Therapeutics）の軸（アクシス）となる、という意味合いを込めて名づけられました。開発プロジェクトの第一号として、田辺三菱製薬との間で認知行動療法アプリ・MTD-810のライセンス契約を締結しております。

#### **認知行動療法アプリ・MTD-810について**

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康増進・行動学分野の古川壽亮教授と、国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センターの堀越勝センター長による研究開発の成果をもとに、当社が臨床試験用に制作した、精神療法の一つである認知行動療法（Cognitive Behavioral Therapy、以下「CBT」）にもとづくうつ病治療用アプリです。当社は2020年に、京都大学と国立精神・神経医療研究センターとライセンス契約を締結し、医療機器としての製造販売承認を取得するために必要な臨床試験の準備を進めてきました。

### **三菱 UFJ キャピタル株式会社について**

三菱 UFJ キャピタルは、1974 年に設立以来、三菱 UFJ フィナンシャル・グループのベンチャーキャピタルとして業界をリードするノウハウを提供し、幅広い業種に対する投資を行っています。IPO を実現されたお客さまは、幅広い業種にわたる累計 850 社超と、業界トップクラスの実績を有しています。

ライフサイエンス分野においては、2009 年のライフサイエンス室発足後、国内外のバイオベンチャーへの資金提供、経営支援を本格的に開始し、2017 年には、ライフサイエンス部を創設するとともに、当社初となる業種特化ファンドとして、三菱 UFJ ライフサイエンス 1 号投資事業有限責任組合（100 億円）を組成しました。2019 年 2 月には三菱 UFJ ライフサイエンス 2 号投資事業有限責任組合（100 億円）を組成、2020 年 6 月には新型コロナウイルス感染症対策を含む、創薬・再生医療等を担うベンチャー企業を支援する MUFG メディカルファンド（100 億円）を組成し、バイオベンチャー投資にとどまらず、アカデミア創薬、製薬会社のカーブアウト案件、製薬会社の開発プロジェクトへの投資、医療機器関連にも注力しています。

本件に関するお問い合わせ

三菱 UFJ キャピタル株式会社 投資企画部 03-5205-8587